

## 新年度挨拶 2026

事業管理者 丹野弘晃

本日朝一で、昇任および新採用となられた 32 名の皆さんに辞令交付をさせていただきました。その皆さんを含めて、新たに当院に採用となる皆さんは、計 40 名になります。当院も大病院になってきたなと素直に感激したところですし、医療従事者の皆さんが集まる病院になってきたのかなと、前向きに捉えております。未永くよろしく願いいたします。

若手の皆さんは、まずは仕事を覚えて、技術・知識を磨こうとしておられるでしょうし、中堅の皆さんは、若手の指導・教育とともに社会貢献・地域貢献を考えておられるのではと思いますし、ベテランの皆さんはそれらを含めて、病院組織のマネジメントを担っていかねばならないと決意を新たにしていることでしょう。当院は、皆さんのご要望を満たすことのできる病院であると思いますし、その環境を提供し続けることができるように、常に改善する歩みを止めないことをお約束いたします。是非、やりがいをもって、楽しく働いていただきたいと思います。

加えて、私からは皆さんと共有しておきたいことを、一つお話ししたいと思います。それは、今回の診療報酬改定が、これから国・県から示される新たな地域

医療構想と完全にリンクしているということです。特に、各病院が自らの医療機関機能を示すこととなりますが、当院はこれまで上十三二次医療圏の中で急性期中核病院の役割を担ってきました。この機能をそのまま維持し、さらに進化させなければなりません。診療報酬上、急性期病院の定義と言うべきものが示されましたが、具体的には救急車の受け入れ数と全身麻酔手術の数となっています。当院がこれまでやってきたことそのものですし、非常に分かりやすい数値目標とも言えます。今年度の具体的な病院目標を近日中にお示めいたしますので、注目していただきたいと思います。

当院は、昨年度全職員一丸となって、病院経営改善に取り組み、極めて厳しい昨年度までの診療報酬の条件の中で、V字回復を成し遂げました。今年度は、その流れを引き継ぎ、新しい診療報酬改定の追い風に乗って、さらに前進してまいります。よろしくお願いいたします。

2026年4月1日